

子育て世代と市長との懇談会開催結果

1 日時

令和2年1月31日（金）午前10時から

2 会場

ネットたまぐーセンター 4階和室

3 参加者数

8名 内訳 女性5名、男性3名、

4 参加者の主な発言要旨

○風の子太陽の子広場のアスレチックを復活させてほしい。管理棟も何かに活用できるのではないかな。

○公園に駐車場と授乳できるスペースがほしい。できればお湯が出る環境もあると嬉しい。今の世代は遊ぶ場所を事前にインターネットで調べてから行く。トイレがきれいとか、駐車場、授乳スペースがあれば少し遠くても行く。

○子育てをしている合間に思いつく意見などを言える場所がほしい。

○周産期医療が充実しているといっているが、ホームページを見ても確認することができない。子どもを産むときにはホームページで確認するのでその点は重要だと思う。出産時に保健師や助産師が家にきていただけるサービスがあるとよい。

○実家が近いなど、支援の体制が整っていれば2人目の子どもも考えられるが、支援がないとなかなか難しい。

○総合病院の出産入院時での食事のことで、産後4日目にお祝い膳がでますが、経産婦は3日で退院するため、お祝い膳を食べることができません。お祝い膳や薬膳を3食毎日出すことで、産科病院のレベルに追いつけば、青梅で子どもを産み、その後の住んでくれる人が増えると思います。

○保育料の無償化について、学年ではなく、年齢を対象とするのが理不尽に感じます。無償化の対象を拡大するように国に訴えてほしい。それまでの期間は、青梅市の独自事業にて差額を補助してほしい。

○吉野街道に「よごすな観光地」との看板があります。日向和田にも似たようなものがあります。せっかく観光地に来たのに怒られる感じがします。「きれいに使ってありがとう」などそういったものに変えてほしい。ネガティブなものだと嫌な感じがする。